

年度 2009	学期 後期	曜日・校時 金・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)		英語コミュニケーション II (English Communication II)		
対象年次 1 年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) D16・17	科目分類 外国語科目(英語)			
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 小笠原真司/Eメールアドレ: ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp 研究室:TEL: 095-819-2094 /オフィスアワー: 水 3 金 3				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。 授業方法: 演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属の CD を利用して、十分練習してくることを要求します。また、2回程度、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。 授業到達目標: テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信をもって英語でスピーチできるようにします。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながら CD を聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を 20 分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。				
<p>第1回 オリエンテーション、リピーティング練習の体験 英語リスニングテスト(プリテスト)</p> <p>第2回 テキスト 発音・リズム練習1 基礎リスニングトレーニング1</p> <p>第3回 テキスト 発音・リズム練習2 基礎リスニングトレーニング2</p> <p>第4回 テキスト 発音・リズム練習3 基礎リスニングトレーニング3</p> <p>第5回 テキスト リピーティング練習1 疑問文と機能・場面1</p> <p>第6回 テキスト リピーティング練習2 疑問文と機能・場面2 スピーチ練習課題 A</p> <p>第7回 テキスト リピーティング練習3 疑問文と機能・場面3 スピーチ練習課題 A</p> <p>第8回 テキスト リピーティング練習4 疑問詞・接続詞が導く名詞節1 スピーチ練習課題 A</p> <p>第9回 テキスト リピーティング練習5 疑問詞・接続詞が導く名詞節2</p> <p>第10回 テキスト リピーティング練習6 疑問詞・接続詞が導く名詞節3 スピーチ練習課題 B</p> <p>第11回 テキスト リピーティング練習7 助動詞を用いた表現1 スピーチ練習課題 B</p> <p>第12回 テキスト リピーティング練習8 助動詞を用いた表現2 スピーチ練習課題 B</p> <p>第13回 テキスト リピーティング練習9 比較を用いた表現1</p> <p>第14回 テキスト リピーティング練習10 比較を用いた表2 英語リスニングテスト(ポストテスト)</p> <p>第15回 全授業のまとめ(定期試験を含む)</p>				
キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies			
	教材: 英語リスニングテスト(JACET 中級) 1,000 円(第1回目の授業時に徴収します) 教科書(テキスト): 『コミュニケーションのためのパターン別英文 600』(Kinseido) 1,900 円 (第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材: リスニング教材1~8 プリントにて毎回配布します。			
成績評価の方法・基準等	成績評価は、○定期試験 50%、小テスト 20%、課題提出 10%、毎回のリピーティング練習評価 20%で行います。課題提出は、書いてもらった英文の内容を評価するので、ただ出せばよいという考えだめです。また毎回のリピーティング練習評価は、14 回の総合評価ですが、毎回必ず当たりますから、毎回きちんと練習してこないと評価は低くなります。			
受講要件(履修条件)	全回出席が原則です。			
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				